＜１学期終業式式辞＞

Ｒ１.7.１９

１学期の終業式を迎えました。３年生は、これからの行事ひとつひとつが「中学校生活最後」の行事になります。大切にていねいに行いたいですね。

今日の先生の話は２つあります。１つめは、この後、教室で担任の先生から渡される通知表についてです。その成績のつけ方を知っていますか。現在の評価のしかたは絶対評価です。それぞれの教科の観点別に、目標・ねらいをどれだけ達成できたかで評価します。また、個人内評価といって、自分自身の中でどれだけ力の伸ばすことができたかでも評価します。以前は、相対評価といって、他者との比較で成績をつけていました。このように変わった理由は、他人と比べるのではなく、自分自身がどれだけ努力し、結果を出したかを重点に評価するためだと思います。夏の大会の壮行会のときにお話ししましたが、他人に勝つのではなく、自分に負けないことが大切ですね。そして、自分の意見を大切にしながら、他人の意見も尊重することも大切です。自分と異なる意見（個性）を認めながら、自分の考えを生かすということでもあります。

２つめは、「命」についてのお話しです。７月の初め、皆さんは学校で「命」をテーマにした標語を考えました。そして、「命」の大切さについては、説明するまでもなく十分理解していると思います。しかし、先日、岐阜市の中学生が自殺をしたというニュースがありました。そして、今日の朝刊にも名古屋市の中学生が自殺したという記事がありました。このようなニュースを聞くたびに、胸が痛くなります。こんなに悲しく残念なことはありません。このような自殺は、いじめが原因の一つであることが多いです。いじめをなくせば、間違いなく自殺は減るはずです。いじめをなくすためには、1 つめにお話ししたように、自分らしさを大切にしながら、自分以外のいろいろな個性を認めることが大切になると思います。自殺以外でも、事故や熱中症などで「命」を落とすこともあります。この夏休みは「命」を大切にすることを十分意識して生活しましょう。そのために、この後の柴田先生のお話をしっかり聞いてください。

以上で、校長先生の話を終わります。